

1 単元名 神様について考えよう。「わらぐつの中の神様」

2 目標

○わらぐつの中の神様って何かを考える。

3 指導計画（全8時間）

第1次 題名読みをする。（1時間）

第2次 登場人物の考え方や生き方，かかわり合いを読み取る。（4時間）

第1時 マサエとおばあちゃんのわらぐつに対する思いの違いを考える。

第2時 おみつさんらしさ，大工さんらしさを探す。

第3時 わらぐつの中の神様って何かを考える。（本時）

第4時 おばあちゃんの話を書く前のマサエと話を聞いた後のマサエの神様についての考えを比べる。

第3次 杉みき子の他の作品「ゆず」の中にある神様を探す。（読書）（1時間）

第4次 自分の身近にある神様を見つけ，作文に記し発表する。（2時間）

4 指導上の立場

○教材について

本教材「わらぐつの中の神様」は，現在一過去一現在という物語の構成になっている。おばあちゃんの思い出話の中の，おみつさんと大工さんのほのぼのとした会話や行動から心情を想像しながら読み取り，「使う人の身になって心をこめて作ったものは，神様が入っているのと同じなんだ。それを作った人も神様とおんなじだ。」といった言葉からわらぐつに対する思いや考え方にふれることができる。登場人物の生き方を振り返り，ものの価値は見た目では決まらないという価値観があるということも知ることができる。と考える。

○児童の実態

削除しています。

○研究主題との関わり

本校の研究主題は『「言葉の力」を育てる授業のあり方』である。この主題に迫るために，習得と活用を意図した授業を展開することとする。

本教材において習得に当たる内容は

- ・題名読みから「わらぐつの中の神様って何かを考えるよう。」という目標をもち，おばあちゃんの話の中のおみつさんや大工さんの考え方や生き方から，わらぐつの中の神様って何かを考えることであり

活用に当たる内容は

- ・作者の他の作品「ゆず」を読んで「ゆず」の中にある神様を探す。
- ・自分の身近にある神様を見つけ，作文に書く。ことである。

学習内容をもとにして，自分の身近にある神様を見つける活動では，わらぐつの中にある神様と同じように，どんな神様がいるのか，なぜそれが神様なのかを考えて活用を図るものである。

こうしたことは，言語活動の充実につながり，生きて働く「言葉の力」を育てるものである。

5 本時案（第2次第3時）

目標	わらぐつの中の神様って何かを考えることができる。	
	学習活動	教師の支援と工夫
1	本時のめあてをもつ。	○前時におみつさんらしさ，大工さんらしさを探したことを確認し，本時のめあてにつなげる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> わらぐつの中の神様って何かを考えよう。 </div>		
2	全文を読み，神様についての考え方がわかるところに印をつける。	○全文を各自黙読あるいは微音読しながら考えるようにする。 ○神様についての考え方がわかるところに，赤い線を引くようにする。 ○おみつさんらしさ，大工さんらしさがわかるところを参考にして考えるとわかりやすいことを助言する。 ○会話や行動に着目して考えるようにする。 ○線を引いたところに自分の考えを書くようにする。 ○神様という言葉が書かれていなくても神様についての考えが書かれていることを知らせる。
3	印をつけたところを発表する。	○黒板に貼った掲示用の文に線を引き，自分の考えを発表するようにする。 ○同じところに線をひいた児童には，黒板に貼った文の線を引いたところに自分の名前シールを貼るようにする。
4	わらぐつの中の神様って何かを考える。	○神様についての考えがわかるところから，わらぐつの中の神様って何かを考えさせるようにする。 ☆神様についての考えがわかるところを探し，わらぐつの中の神様って何かを考えることができたか。
5	まとめをする。	○もう一度めあてにもどり，神様についての考え方にふれたまとめを書くようにする。 ○書いたまとめに教師の花丸やコメントをいれ，次の時間に紹介することを知らせ，次時につなげる。